



必要な工具 手回しプラスドライバー、電動ドリル(φ3)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体脱落の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・本体吊込み後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。
 - ・建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。

■取付け上のおお願い

●丁番のねじ締付けおよび建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

■対象となるドア丁番

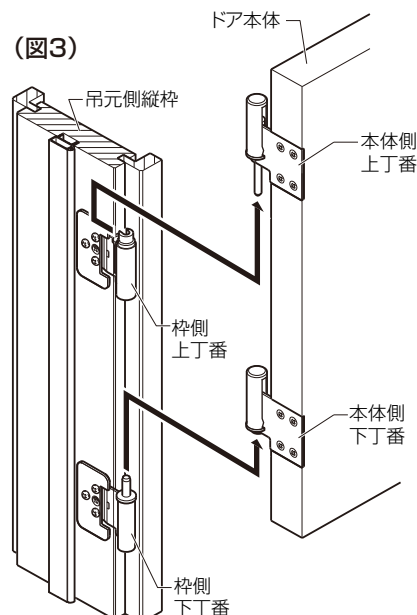
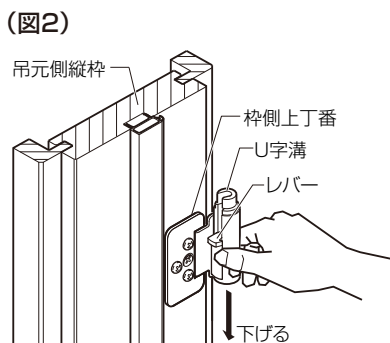
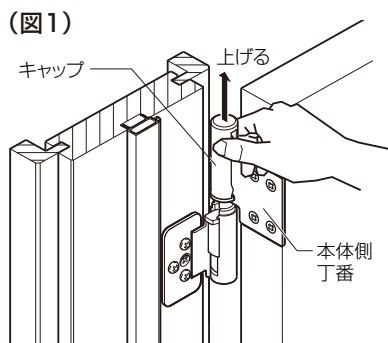
商品シリーズ	色	部品コード	部品名称	ドア1体分の必要数	付属ねじ
WLモダンクラシック	サテンゴールド	MDSG531AL	上丁番L用	各1	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
		MDSG532AL	下丁番L用	※左吊の場合	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
		MDSG531AR	上丁番R用	各1	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
		MDSG532AR	下丁番R用	※右吊の場合	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
	サテンシルバー	MDS531AL	上丁番L用	各1	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
		MDS532AL	下丁番L用	※左吊の場合	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
		MDS531AR	上丁番R用	各1	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)
		MDS532AR	下丁番R用	※右吊の場合	皿タップピンねじφ4×20:8本(予備2本)

※WLB、GL、FL、ALドア丁番の代替として上記部品を使用する場合は、別途トラスタップピンねじφ4×60、なべ小ねじM4×14:各4本が必要です。また、「**3**枠側丁番の交換」方法が異なりますのでご注意ください。

■交換手順

1 本体の取外し

- ①本体側丁番のキャップを上げます。(図1)
- ②枠側上丁番のレバーを止まるまで下げます。(図2)
- ③本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝から抜き出します。
※必ずドア本体を両手でしっかり保持してください。(図3)
- ④枠側下丁番から本体側下丁番を抜き出します。



②本体側丁番の交換

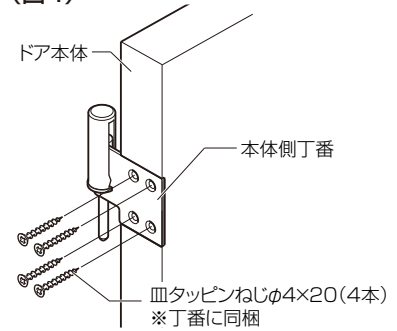
①手回しプラスドライバーでドア本体から丁番を取外します。

(図4)

②丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。

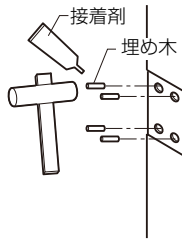
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。

(図4)



■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



●お願い

※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

③枠側丁番の交換

【同じ種類の丁番と交換する場合】

①枠側丁番から丁番枠ケースカバーを取外します。(図5)

②手回しプラスドライバーで枠側丁番の取付けねじを外します。

③枠側丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。

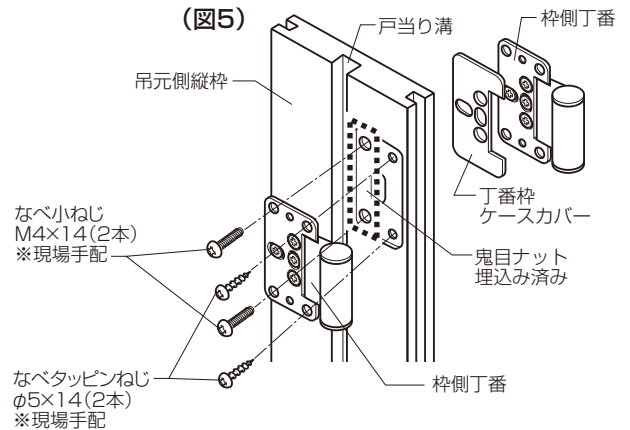
A、Bを最初に締め、丁番座が傾かないようにC、Dを締付けてください。(図6)

※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。

※戸当り溝側の枠側丁番のねじ穴(C、D)には枠の裏側から鬼目ナットが入っているため、ねじが空回りすることがなく、埋め木は必要ありません。

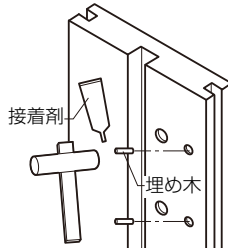
④枠側丁番に丁番枠ケースカバーを取付けます。(図5)

(図5)

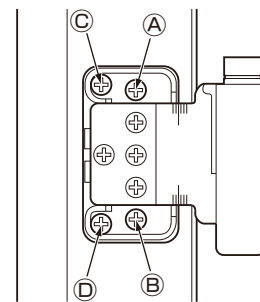


■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



(図6)

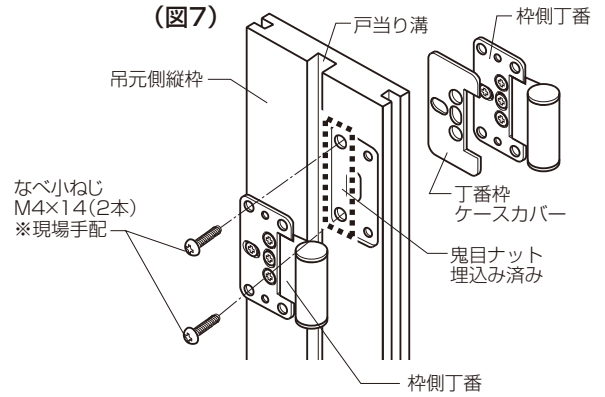


●お願い

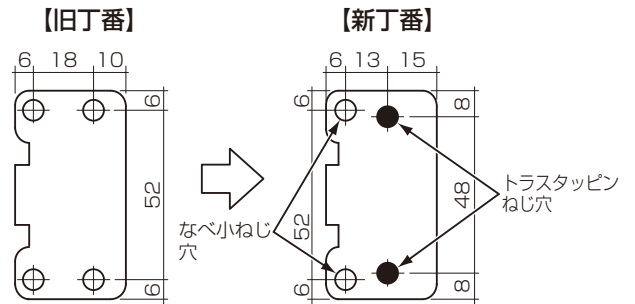
※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

【異なる種類の丁番と交換する場合】

- ① 枠側丁番から丁番枠ケースカバーを外します。(図7)
 - ② 手回しプラスドライバーで枠側丁番の取付けねじを外します。
 - ③ 新しい枠側丁番に合わせて、電動ドリルで吊元側縦枠に
φ3深さ60mmのトラスタッピンねじ用の下穴を開けます。(図8)
- ※ 枠の種類によってねじを締込む方向が異なりますので、同様に下穴を開けてください。(図9)
- ケーシング付き枠：躯体へまっすぐに締めます。
 - ノンケーシング枠：躯体へ向けて斜め(約20°)に締めます。
 - 非木造用枠：躯体へ向けて斜め(約20°)に締めます。
- ④ 枠側丁番を交換し、手回しプラスドライバーで先に戸当り溝側のみなべ小ねじを締付けます。(図7)
 - ⑤ 躯体に向けてトラスタッピンねじを締めます。
※ 確実にねじが躯体にかかるようにしてください。(図9)
 - ⑥ 枠側丁番に丁番枠ケースカバーを取付けます。(図7)

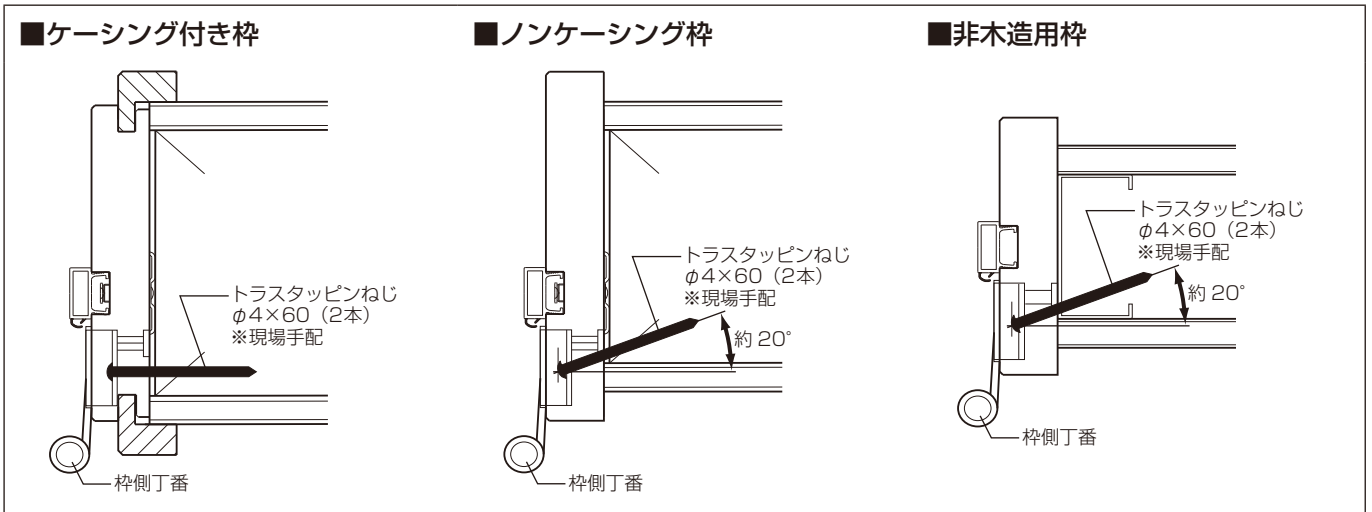


(図8)



※ トラスタッピンねじ穴の位置が異なります。
みなべ小ねじ穴の位置は同じです。

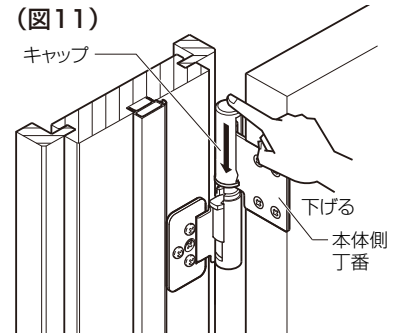
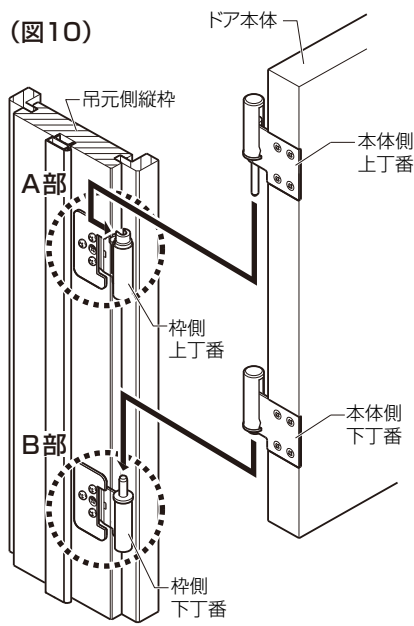
(図9)



お願い
※ 丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

4 本体の吊込み

- ① 本体側丁番のキャップを上げます。
(P1 図1)
 - ② 枠側上丁番のレバーを止まるまで下げます。
(P1 図2)
 - ③ 本体側下丁番を、枠側下丁番に差込みます。
(図10 B部)
 - ④ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
(図10 A部)
- ※ 本体側丁番の軸が枠側丁番に入ると自動でレバーが上がります。
 ※ 「カチャリ」とレバーが上がりますので、軸が丁番に入り込んだことを確認してください。
- ⑤ 本体側丁番のキャップを手で下げてください。
(図11)
- ※ パチンとはまるまで確実に下げてください。



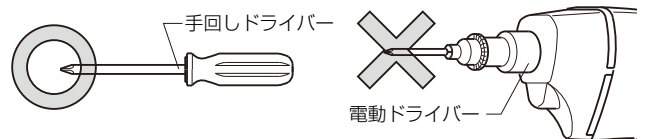
▲ 注意

- 本体吊込み後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体脱落の原因になります。

5 建付け調整

お願い

- ※ 建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

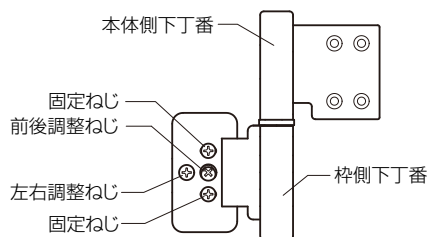


▲ 注意

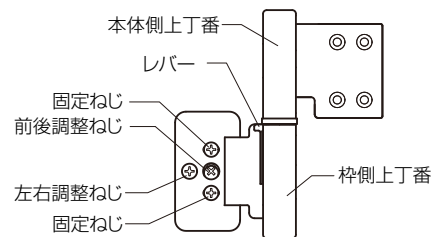
- 建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

■ 三次元丁番(図は、右吊用丁番を示す)

【下用丁番】



【上用丁番】



上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

	不具合例	調整方法
1	ドアの上部が枠に当たる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体側下丁番のキャップを外します。 ② 上下調整ねじを左に回し、ドアを下げて位置を決めます。 ③ キャップをはめます。

2	ドアの下部が枠に当たる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体側下丁番のキャップを外します。 ② 上下調整ねじを右に回し、ドアを上げて位置を決めます。 ③ キャップをはめます。
---	------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

左右の調整

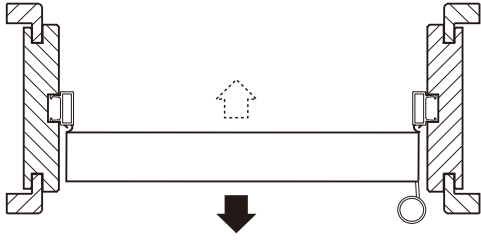
- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

	不具合例	調整方法
1	ドアの開き側が枠に当たる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 固定ねじをゆるめます。 ② 左右調整ねじを右に回し、ドアを吊元側に移動して位置を決めます。 ③ 固定ねじを締めます。

2	ドアの開き側のすき間が大きすぎる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 固定ねじをゆるめます。 ② 左右調整ねじを左に回し、ドアを開き側に移動して位置を決めます。 ③ 固定ねじを締めます。
---	-----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

前後の調整

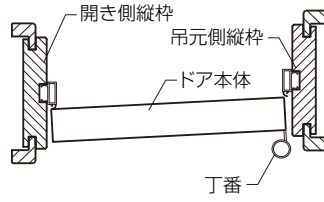
- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。



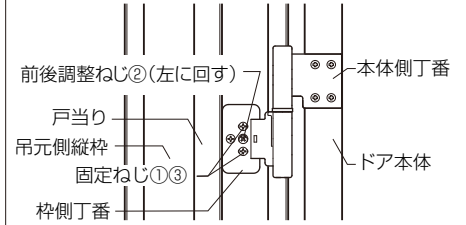
不具合例

調整方法

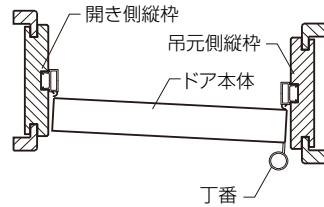
1 開き側の枠が前に出ている



- ① 固定ねじをゆるめます。
- ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させます。
- ③ 固定ねじを締めます。



2 吊元側の枠が前に出ている



- ① 固定ねじをゆるめます。
- ② 前後調整ねじを右に回してドアを後ろに移動させます。
- ③ 固定ねじを締めます。

